

# 1878人の声 届く!

鉢形駅にエレベーターを!  
全員賛成で 請願採択



インフラのバリアフリー化が急がれる昨今、安全性や利便性向上のために鉢形駅構内へのエレベーター設置を求める請願が提出されました。

〔請願者〕石田一男(寄居町大字小園)  
渡邊 稔(寄居町大字保田原)  
山口政行(寄居町大字鉢形)  
ほか1875名

〔紹介議員〕稲山良文・神田 崇

議会では総務経済常任委員会で詳しく審査。委員長による審査報告をふまえ、本会議で審議・採決の結果、全員賛成で採択しました(佐藤理美議員・田母神節子議員から賛成討論がありました)。

この結果を受け、町としても東武鉄道株式会社への働きかけなど、整備に向けた対応を始めるとのことです。

議会が1878人の願意を聞き入れてくれたことが大変うれしい。町民の声に耳を傾けてくれる議会の存在は心強いですね。  
石田一男さん(鉢形)

成績が思わしくなくても、好きな道に進み、夢をつかんで幸せになれば、教育は成功と言えるのではないのでしょうか。

子ども自身のやる気や向上心を育む環境の整備が大切だと思いますね。

家庭の経済事情によって教育格差が出ないよう、秋田県(学力全国トップ)の家庭学習を視察してみたいかがですか。

## 聴く力=議会力

議会の視点・まとめ

3回目の議会報告会・意見交換会を終え、まずはホッとした気持ち。最初は議員の聴くスキルが追いつかず、説明一辺倒の我々。反省を踏まえ、工夫を凝らし、議員の姿勢が変わることで、議会の中におけるだけではない「聴く」ことができた。そして、この手応えを議員全員が体感できたことは、議会が進化していく大きなきっかけとなりました。

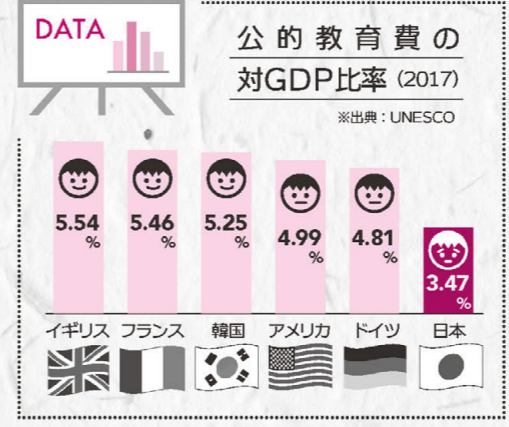
今後も議員全員で、町民の皆さんの中へ飛び込んでいきます!

学力アップはいいですが、その後の大きな教育目標のほうが大事だと思います。

子ども一人ひとりの学力や心のつまずきを、地域全体でフォローしてあげたいですね。

秋田の教育環境で育ち、「地域の中で学んだ」という実感があります。地域コミュニティの教育力に期待します。

用土・寄居小の校庭整備は、子ども達を取り巻く地域にとってもありがたかった。他校にも順次進めてほしいね。



### 議会の視点 一緒に考えよう

#### 教育費はだれが負担すべきか

左のグラフをご覧ください。世界に目を向けると、教育費に対する考え方はさまざま。国として公費でまかなう割合の高い国、子どもの教育は、親(家庭)が負担するべきと考える国……。社会のあり方が大きく変化の中で、教育費負担をどこに求めるかは大きな課題のひとつです。

「心のかような教育」は  
次世代への贈り物

### 五輪応援

寄居町民を募って、オリンピック本大会にブータン選手応援団を送る考えがあるか伺います。

答: チケットの入手、道路事情、公共交通機関の事情、国内外からの大勢の応援者との交錯、夏場の天候事情、出場者の競技時刻、行程の安全確保等、さまざまな難しい課題が想定され、競技会場での応援は考えていません。

映像はこちら  
その他の質問 公共施設の管理運営/中学生海外相互交流派遣事業

### 通学定期

風布地区の児童にはタクシー送迎の助成がありますが、金尾や末野3・4区の電車通学の児童は全額自己負担。義務教育無償の観点から負担軽減の助成について伺います。

答: 半年ごとに定期購入の場合、6年間の合計は、9万7920円になります。公平性の観点から助成は考えていませんが、今後、統廃合の検討の中で、スクールバス等の通学手段も考慮し、研究していきます。

映像はこちら  
その他の質問 自治体の防災力向上/町独自のマラソン大会の実施/風疹感染対策

### 学校給食

町長は、選挙公約で給食費無償化を掲げ、1期目で第3子の給食費無償化を実現。段階的無償化を進めると考えますが、今後どのように実施していくのか伺います。

答: 教育施策の充実強化に重点を置き、児童生徒の学力向上を初め、さまざまな施策に取り組んでいますが、限られた予算の中で優先すべきものを選択し、今、最も必要とされる事業に投資を集中したいと考えます。

映像はこちら  
その他の質問 町道整備

### 国保税

平成30年度から国保の運営が広域となり、今後保険税の値上げが心配。「平成29年度の滞納世帯数」「国保の今後」「多子世帯への負担軽減」「生活困窮者に対する常設の減免制度創設の考え」を伺います。

答: 滞納は859世帯(14%)。うち資格証明書発行2世帯、短期保険証26世帯です。加入者は減少傾向。多子世帯への減免措置、生活困窮者への減免制度創設は考えていません。

映像はこちら  
その他の質問 高齢者支援